

横澤高德さん 2010年バンクーバー冬季パラ五輪 チェアスキー日本代表 「希望郷いわて国体」スキー競技 エキシビジョン滑走決定!



2010年バンクーバー冬季パラリンピックチェアスキー日本代表の横澤高德さん(43歳・室岡)が、2月20日から開催される「希望郷いわて国体冬季大会」のスキー競技(ジャイアントスラローム)において、競技に先立ちチェアスキーでのエキシビジョン滑走を行います。障がい者選手が大会コースを滑走するのは、国体史上初めてとなります。

チェアスキーで滑走する
横澤さん(2010年2月撮影)

「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」は、秋季大会と冬季大会の両方を開催する「完全国体」です。世界の舞台で活躍する横澤さんが冬季大会で滑走することで「希望郷いわて大会」との一体感を発信するとともに、障がい者スポーツの普及が期待されます。

横澤さんは1月14日、役場を訪れ高橋昌造町長に出場を報告。「国体に花を添えることができ、とても光栄に思う。多くの人に滑る姿を見てもらい、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けていい流れを岩手、矢巾から発信したい」と意気込みを語りました。



高橋昌造町長(写真右)を
表敬訪問した横澤さん

皆さんも、横澤さんの世界レベルの滑走をぜひご覧ください。

- ▶日時 2月21日(日) 午前8時45分~午前9時
- ▶場所 安比高原スキー場 ハヤブサコース
※観覧無料・事前申込不要
- ▶その他 会場へのアクセスや注意事項は「希望郷いわて国体」ホームページの「冬季大会観戦ガイド」をご覧ください。

おしえて! 好きな食べ物 (不動保育園3歳児)



「ブドウ」

むらまつ らいとくん



「スイカ」

しらすわりくん



「リンゴ」

はりう じゅりあちゃん



「ニンジン」

ひろた ほたかくん



「チョコレート」

くどう しんいちろうくん

やはば文芸の森

「やはば短歌の会」会員の作品から

仙台市 石ヶ森やす子

ちりしける落葉松の葉は路地をゆく足にやさしく年暮れてゆく雲の間の太陽ゆらぐ元日の窓に寄りつつ礼拝したり

南矢幅 小川 文子

山脈のまばゆきばかり夕日浴み歳晩の街にひとり佇む食道の癌病みし母が言ひたりき朝一杯の水を飲むべし

南矢幅 中野 和子

腰痛を庇ひてわれは雪を掻くひとり通れるほどの裏道祖父の死に泣きて止まざる孫二人めぐりのわれらも共に泣きたり

室岡 小林 ミツ

震災時高校生とふ青年の話聞きつれら鎮まる弟と年の始めに物忘れの談義がはづみ笑ひて別る

※やはば短歌の会からのお知らせ: 毎月二回、金曜日に町公民館で短歌の勉強会を開催しています。皆さんお気軽にご来場ください。

宮沢賢治と矢巾町

「銀河鉄道の夜」の舞台は南昌山

第5回

宮沢賢治と矢巾町のかかわりを紹介するこのコーナー。今回は親友藤原健次郎の急死と、親友の死が賢治に与えた影響について紹介します。

◆藤原健次郎の野球遠征

小学校の頃から野球を楽しんでいた藤原健次郎は、盛岡中学校2年生（明治42年）の途中から野球部に在籍。3年生の夏休みには部員80人の中から秋田への遠征チームの4番バッターとして抜擢されました。秋田遠征では、強打者としてチームの勝利に大きく貢献しました。

秋田での遠征を終えた8月14日、遠征チームは横手から北上経由で帰途につきました。当時は北上線が開通していなかったため、徒歩で二泊三日の行程でした。部員たちが出発してしばらくすると雨が降り始め、それが3日間降り続き、その中を部員たちは神社やお寺の軒下で仮眠をとりながら歩き続けました。

◆藤原健次郎の急死

健次郎は遠征から戻ってから高熱が続き、腸チフスと診断され入院。2学期に入っても治らず、明治43年9月29日、16歳の若さで急死しました。



健次郎の生家で発見された賢治からの手紙

多くの人が健次郎の死を惜しみ、野球部の小田島富四郎監督は明治44年1月発行の盛岡中学校「校友会雑誌」に追悼文を掲載。横手から北上までの道中、野球用具の入った袋を背負い、さらに上級生の荷物も自ら進んで背負っていたエピソードを紹介しました。また、野球部の小本五郎主将が健次郎の父藤原栄次郎に宛てたお悔みの手紙が健次郎の生家に遺されており、健次郎は努力家で、練習に励んでレギュラーの座を勝ち取ったこと、4番バッターでありながら控え目で温厚な性格で他の選手との模範だったことが書かれています。

◆健次郎の死を知った賢治

宮沢賢治は健次郎の死について、晩年に記した「文語詩篇ノート」など、「藤原健次郎死す 野球 大館チフス 藤原健次郎死す」と繰り返し記し

ており、つらく悲しい出来事であったことが読み取れます。

賢治は健次郎が秋田から戻ってきたから2通の手紙を送っています。1通は、8月中旬に書かれたもので、夏休みの出来事（いたずら）や先生の悪口などを記しています。

もう1通は9月19日付で、入院中の健次郎に宛てて書かれたものと思われま。残念ながら封筒だけで中身は見つかっておらず、正確な内容は不明ですが、「矢巾町宮沢賢治を語る会」の松本隆会長は、手紙の内容を「健次郎の入院への見舞いと激励の言葉、夏休みのいたずらを反省して社会に役立つ人間として生きることを誓約する内容と思われる」としています。

◆賢治の作品への影響

賢治は、健次郎が亡くなった後も健次郎の生家を訪れたほか、南昌山にも登っています。

大正12年ころに書いた初期の童話作品「鳥をとるやなぎ」「谷」「二人の役人」について、文中の人名や地名から、健次郎との思い出を回想して作った作品であると考えられます。

また、晩年の作品である「銀河鉄道の夜」も、松本会長は「健次郎に送った2通目の手紙に記した内容を、夢の中だけでも健次郎に伝えたいこの思いから書き遺した作品である」と考えています。【次回に続く】

じゃじゃとくの
つ・ぶ・や・ま。

水道
豆知識!
その64



浄化槽を使っている家庭は、機能を維持するために点検や清掃、法定検査をしなきゃいけないんだけど、浄化槽を設置してから10年までの人を対象に、保守点検にかかった費用の一部を町が補助してくれる制度があるんだじゃ!

申請の期限は3月15日までだから、対象の人は忘れずに申請してくれじゃ!